

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回弘前市認知症初期集中支援チーム検討委員会
開 催 年 月 日	令和8年2月16日(月)
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分から14時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	中村 直樹
出 席 者	委員長：中村 直樹 副委員長：東谷 康生 委員：菊池 淳宏、相馬 渉、平野 敬之、下田 肇、 小林 雅也、小野 直子、佐藤 誠、佐藤 信隆
欠 席 者	委員：松山 貴紀、福井 深雪
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	福祉部長 秋田 美織 介護福祉課長 工藤 信康 介護福祉課長補佐兼自立・包括支援係長 伴 英憲 介護福祉課社会福祉主事 田中 佑
会 議 の 議 題	(1) 令和7年度弘前市認知症初期集中支援推進事業実績について (2) 令和7年度弘前市認知症施策実施状況について
会 議 結 果	下記会議内容に記載のとおり
会 議 資 料 の 名 称	資料1：令和7年度弘前市認知症初期集中支援推進事業 実績報告(4～12月分) 資料2：令和7年度弘前市認知症施策の実施状況報告(4～12月) 参考資料1：障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)、認知症高齢者の日常生活自立度 参考資料2：広報ひろさき(令和7年9月号)一部抜粋 参考資料3：弘前市ただいまサポート事業「新規グッズ『爪Qシール』のご紹介」 弘前市認知症ガイドブック(認知症ケアパス)概要版

<p>会議内容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>4 閉会</p>
<p>(事務局)</p> <p>(平野委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(平野委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(小林委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>3 案件</p> <p>(1) 令和7年度弘前市認知症初期集中支援推進事業実績について</p> <p>&lt;資料1、参考資料1を説明&gt;</p> <p>対象者が0というのは必要とする人がいないのか、PRが悪いのか。</p> <p>認知症初期集中支援チームに寄せられる相談件数は年に数件程度。一方、認知症地域支援推進員を兼務する地域包括支援センターには認知症についての相談が過去5年間の推移をみると年間400件程。いずれも認知症の相談窓口となっているが、現状の対応として、地域包括支援センターがまず認知症相談の窓口となり、更に対応困難なケースが認知症初期集中支援チームに相談する流れとなっている。</p> <p>もう少しPRを頑張ってほしい。</p> <p>(2) 令和7年度弘前市認知症施策実施状況について</p> <p>&lt;資料2、参考資料2・3、弘前市認知症ガイドブック(認知症ケアパス)概要版を説明&gt;</p> <p>認知症地域支援推進員連絡会では認知症相談のケースについて、認知症初期集中支援チームへ対応の相談や引き継ぎが行われているのか。</p> <p>認知症地域支援推進員連絡会ではケースの相談や引き継ぎは行われていない。連絡会では認知症の方が地域で安心して暮らすことができるよう、横展開での地域づくりを目指している。話し合われる内容は毎回異なるが、各々の推進員活動の情報共有や意見交換を行っている。</p>

(東谷副委員長)	認知症高齢者等見守り事業の協力機関について。協力機関は企業などに限るのか。個人は登録できないのか。
(事務局)	実施要綱では協力を希望する事業者等としている。
(東谷副委員長)	協力機関として認知症サポーター個人への情報提供ができれば、見守りの目が増えると思う。検討いただきたい。
(中村委員長)	爪Qシールのチラシについて。授業でも活用したい。広く周知に繋げていただきたい。
(平野委員)	認知症ケアパス概要版は病院にも設置しているが、捌ける数が多く役に立っていると感じる。
	4 閉会
その他必要事項	